

# 移住風景

2019年度【第9号】  
2019年12月1日発行  
八頭町役場商工観光室  
(0858-72-0144)

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

## 創作活動のこと

趣味で十年ほど音楽活動をしていきます。最近では八東での暮らしに夢中になってしまい頻度は減ったものの、私としては珍しく長続きしています。

先日、縁あって「あの手この手まつり」にて歌わせていただきました。仲間たちと数曲演奏しましたが、会場の不思議な熱気と一体感がとても心地よく、未だに思い返すほど楽しかったです。音楽を含め、創作活動は誰にでも開かれた世界であり、主役が本人ではなく作品にあるからこそ、誰もが一緒に舞台にいられるのだと思います。



ゆず商品をきらしたことがない



先日、日田集落のゆず収穫体験に付き添ったのですが



松下さんも収穫どうぞ



ゆず湯、毛穴が締まって肌が明るくなりました…!

地域には大小様々な課題があると言われていますが、もしかしたらアートというものには、そういう課題すらエネルギーに変える力があるのかも、と職業病みたいですが最近考えています。

松下 聡子



## 協力隊担当の現場から

\* 八頭町発見伝⑫ \*

— 成田山青龍寺

— 宝物殿の御開帳 —

今年も早いもので、来月にはまた新しい年を迎えます。大晦日の午後十一時を過ぎれば、町内のお寺からは除夜の鐘の音が聞こえてきますが、八頭町下門尾にある「成田山青龍寺」では、除夜の鐘だけでなく、国指定重要文化財に指定されている「持国天立像」と「多聞天立像」が安置されている宝物殿の扉が開かれます。

持国天立像と多聞天立像は鎌倉時代に作られたもので、仏像の胎内には

「正安三年正月廿五日 仏師 隆円造」と墨書銘がなされています。これらの仏像が安置されている宝物殿の扉は、正月三ヶ日、二月の節分会、十月の大祭、そして十二月の除夜の鐘の折にのみ開かれますので、年末年始にはぜひ青龍寺に足を運んでご参拝下さい。

(商工観光室 田中)



## ○協力隊からのお知らせ

・移住風景は、八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。